

キエフ工科大学ウクライナ日本センター概要



私共のセンターは2006年、日本・ウクライナの両国政府間合意に基づき、キエフ工科大学（NTUU “KPI”）内に設立されました。2011年5月末まではJICA（国際協力機構）のプロジェクトとして、両国間の関係緊密化に資するべく、①日本語学習の推進、②日本文化の紹介、③日本的経営ノウハウ等のビジネス紹介を3本柱に事業を実施してまいりました。現在は国際交流基金（Japan Foundation）の支援の下、キエフ工科大学内の組織（センター）として引き続き、両国間の関係促進に貢献すべく各種プログラムを展開中です。

近年の事業内容：

1. 日本語講座

初級から上級まで各レベル・目的に合わせた日本語授業を実施。2012年からは、国際交流基金が開発したJFスタンダードに基づき、新たなコースを開講。

2. 日本文化講座

茶道・書道・生花・墨絵・着付け・囲碁など、日本の文化を学ぶ定期講座を開講。

3. 日本文化の紹介（日本人ボランティアの止まり木）

村上春樹の「IQ84」が世界に先駆けてウクライナ語に翻訳出版されたように、ウクライナにおける「日本文化への関心」は非常に高い。同関心に応えるべく日本からのボランティア（住友商事社員他）をサポート、文化講座等を多数開催。

4. 日本、ウクライナへの情報発信（ニュースレターの発行）

相互理解が先ずは必要との認識の下、日本人には「ウクライナの事」を、ウクライナ人には「日本の事」を知って貰うべく隔月で「ニュースレター」を発行。

5. 東日本大震災への対応

2011年3月11日の東日本震災を悼み、日本を元気付けるべく各種イベントを開催。チェルノブイリ事故を経験しているウクライナならではのメッセージを日本に発信。同年9月4日は山本寛斎氏企画「天灯」をキエフ市長他列席の下、開催。

6. 日本・ウクライナ学術交流支援

ウクライナからの日本留学促進を目的に、年1回、日本の大学などに参加を募り留学フェアを開催。要請に応じ、日本とウクライナの大学間交流などを支援。

キエフ工科大学（NTUU “KPI”）概要：

1898年に創立のウクライナ最大の工科大学（29の学部・研究所を有し学生数は凡そ40,000人）。元素の周期律表で有名なメンデレーエフはKPIで教鞭をとり、ヘリコプターのパイオニアの一人であるシコロフスキーは此処で学んだ。サムスン、ダウ・ケミカル等外国企業との共同研究も多数。同大学は日本センターの他、ポーランド、中国、韓国等外国センターを有している。